

講習・講演会3回開催 着付け、リース作りなど

学区・地区のレポート 陵南

令和六年は陵南コミュニティセンターにおいて三回の講習会、講演会を開催しました。六月二十一日(金)浴衣着付け教室を開催しました。これから、夏祭りシーズンに向けて、一人が帯が結べるようになったらいいなと思ひ計画しました。講師の先生二名によ

り、浴衣の着方、簡単な帯の結び方、また、人に着せてあげられる方法など、やさしく教えて下さり和気あいあいとした二時間でした。



浴衣の着付けを終え笑顔の参加者と講師の先生たち

八月九日(金) N P O 法人「音楽の啓蒙」理事長・松原徹氏による「音楽と心の健康」と題した講演会を開催しました。腹式呼吸の仕方、また、首の運動がとて大切だということ、つまり大きな声を出すことが健康につながるという話を交えてお話をいただきました。最後は松原氏のギターに合わせて懐かし

「Xmasリースとしめ縄のアレンジメント講習会」 世界に1つだけの自分の作品を手笑顔の参加者



御津南婦人会員数の減少や高齢化という課題もある中、今までの活動に楽しく取り組むことを目標にして頑張っています。

学区・地区のレポート 御津南

今年度五年ぶりに九月に敬老会を実施しました。四年間というブランクや、また猛暑の中で準備という事でなかなか大変でしたが、婦人会や地域の各種団体と協力して無事に敬老会を実施することができたのはとても嬉しいことでした。今後もみんなと力を合わせ

先生のアドバイスを受けながら フラワーアレンジメント講習会



先生の一言一動、アドバイスもあり、全員が世界に一つだけの作品を作ることができました。先生のお話に、入りの作品を仕上げるのが出来た。満足。これ以外に、地域の「公民館祭り」や「み健康マラソン」大会にも積極的に参加し、地域に根付いた婦人会活動に取り組んでいます。



お正月用のフラワーアレンジメントの完成品と一緒に

廃油石けん作り35年 地域の親子に体験会

学区・地区のレポート 岡南

岡南学区は、岡山国際スケートリンクや岡山県立南高等学校のある所です。

婦人会では、約三十五年廃油を用いて石けん作りを行っています。廃油は十六町内会、各家庭や飲食店で使用済みの食用油を頂いて活用しています。廃油石けんの使用例はたくさんありますが、野球などのユニフォーム



「廃油石けん作り親子体験会」で材料をかき混ぜる親子

や靴下の泥汚れ、ワイシャツの襟汚れはきれいになると大変好評です。廃油石けんは、廃油(食用油)・カセイソーダ・水・酢の材料を使い、決まった手順で作製します。七分程かけて長い棒を使い、二人一組で交代しながら混ぜた後、型に流し込みます。二、三ヶ月乾燥させれば廃油石けんが完成します。

令和六年十二月には「廃油石けん作り親子体験会」でこれらの作業を行いました。令和七年一月には「廃油石けん完成会と交流会」を岡南公民館の主催で開催しました。交流会では、参加者それぞれが型から石けんを出しました。続いて、私たち参加者、お手玉、おはじき、こま回し、ゴム鉄砲、ヨーヨー、カルタで地域の方々と世代間交流を行いました。大人は童心に戻り、子どもたちと一緒に楽しめました。子どもたちはこのような体験をする機会がないので、貴重な経験になったの



「廃油石けん作り親子体験会」で親子が一緒に石けんを作っている様子

ではないでしょうか。廃油石けん作り親子体験会「廃油石けん完成会と交流会」の参加者の方からは、①七分程混ぜるのが大変だった②初めての体験だったが、やさしく教えてもらいながら出来た③石けんを型に入れたら、乾燥した石けん



廃油石けん完成後の交流会で、カルタ取りで世代間交流

学区を挙げて防災訓練 県立中生徒80人も参加

学区・地区のレポート 宇野

宇野学区防災訓練は当初は宇野小学校のみで実施していましたが、毎年場所を変えて実施するように決め、令和六年十二月七日(土)に岡山県立操山高等学校の体育館で初めて実施しました。

当初は、六

「日帰り防災キャン



被災地の被災状況説明を聴く参加者

十六年に公民館から「日帰り防災キャン

時間以上の実施という制約の中、昼飯の炊き出しや起震体験、煙道体験、消火器訓練、土

今年度(令和六年)の防災訓練には岡山県立岡山操山中学校の生徒が八十人も参加して、準備や避難者の誘導等を実行委員と共同で行ってくれました。また、中学生に任せた三十分間のプロジェクトを使った研究発表は、アンケートでも素晴らしい結果が出た。中学生の力を借りた避難訓練は、非常に有意義で効果があったと思います。(宇野学区会長・川崎美恵子)



テント張り、ベッド作りを体験する参加者